



NZ と USA で稼働する林業機械




BACK NUMBERS




森友 vol.14
株式会社 リーヴフォレスト
大分県
SH75X-6A KESLA 20SH mkII
株式会社 あすなる四国支社
高知県
SH135X-7 MSE フェラーバンチャガルスロボ
北はりま森林組合
兵庫県
SH75X-7 KESLA 20SH mkII
下呂総合木材市売協同組合
岐阜県
SH120LC-7SM (スミマックス)
美和木材協同組合
茨城県
SH135X-7 MSE ハーベスタ (トリケラ)
浜崎製材 株式会社
福島県
SH135X-7 AFM テスコビックアーム&伐倒ソー
株式会社 昭林
岩手県
SH120-7 PONSSE H6



森友 vol.13
米崎銘木株式会社
京都府
SH75X-6A
KESLA20SH mkII ハーベスタ
株式会社柳沢林業
長野県
SH135X-7
KESLA25SH mkII ハーベスタ
スルガフォレスト株式会社
静岡県
SH135X-6 KESLA25SH mkII ハーベスタ
株式会社鹿角緑地
秋田県
SH135X-7 KESLA25SH mkII ハーベスタ
千歳林業株式会社
北海道
SH120-7 IWA FUJI グラッフル



森友 vol.12
越智重機林業
北海道
SH135X-7
PONSSE H6 ハーベスタ
有限会社真貝林工
北海道
SH135X-7
MSE-TR-550 トリケラハーベスタ
株式会社島田木材
富山県
SH135X-7
KESLA25SH mkII ハーベスタ



森友 vol.11
井上産業株式会社
北海道
SH135X-7 WOODY 50
みちのくバイオエナジー株式会社
青森県
SH120LC-7MH MUOTO グラッフル
有限会社畜一林業
福島県
SH120-7 IWA FUJI GP-45A
有限会社西湘造林
神奈川県
SH75X-6A NANSEI グラッフル
竹上木材株式会社
和歌山県
SH135X-7 KESLA25RH mkII
隠岐島後森林組合
島根県
SH120-7 NANSEI スイングヤーダ
有限会社つしまエコサービス
長崎県
SH135X-7 IWA FUJI グラッフル



森友 vol.10
仲山林業株式会社
岩手県
SH120-7 PONSSE H6
アブクマエコロジー有限公司
福島県
SH135X-7 KESLA25SH mkII
企業組合 山仕事創造舎
長野県
SH135X-7 IWA FUJI グラッフル
静岡市森林組合
静岡県
SH135X-7 KESLA25SH mkII
株式会社山崎木材市場
兵庫県
SH120-7 湿木仕様
福岡都市開発株式会社
福岡県
SH135X-6 KETO150
株式会社トライ・ウッド
大分県
SH135X-6 NANSEI NPH-48



森友 vol.09
オホーツクバイオエナジー
株式会社
北海道
SH135X-6 グラッフル
雄勝広域森林組合
秋田県
SH135X-6 WOODY
田中林業株式会社
東京都
SH75X-6A KESLA20SH
株式会社守岡林産
広島県
SH135X-6 KETO
株式会社高知官材
高知県
SH135X-6 KESLA25SH



森友 vol.08
苫小牧バイオマス発電
株式会社
北海道
SH250-6MH
株式会社
レンタルのニッケン
東京都
株式会社 ヨシカワ
石川県
八頭中央森林組合
鳥取県
SH75X-6A
丸和林業グループ
山陰丸和林業株式会社
京都府
SH135X-6



森友 vol.07
青藤重興業
北海道
SH135X-6
気仙地方森林組合
岩手県
SH120-5
小田原緑化開発
群馬県
SH135X-6
白川町森林組合
岐阜県
SH135X-3B
丹波市森林組合
兵庫県
SH75X-3B
山陽商事
岡山県
SH125X-3
宮崎森林発電所
宮崎県
SH120-5



森友 vol.06
五島森林組合
長崎県
SH135X-3B
四万十町森林組合
高知県
SH75X-3B
飛騨高山森林組合
岐阜県
SH120-5



森友 vol.05
グリーン・シャイン
鳥取県
SH75X-3B
秋田グリーンサービス
秋田県
SH75X-3B
つかる森林組合
青森県
SH135X-3B



森友 vol.04
山崎木材
広島県
SH135X-3B
美山町森林組合
福井県
SH135X-3B
群馬県森林組合連合会
群馬県
SH120LC-5SM
北海道ニッパ
北海道
SH135X-3B



森友 vol.03
上野物産
鹿児島県
SH75X-3B
長浜市伊香森林組合
滋賀県
SH135X-3B
神子沢林業
山梨県
SH120-3
木材商秋田林業
徳島県
SH120-5
竹田木材
石川県
SH135X-3B
よつばフォレスト / 浅野産業
北海道
SH135X-3B



森友 vol.02
溝淵林業
鹿児島県
SH75X-3
松阪地区木材協同組合
三重県
SH135-3B
株父広域森林組合
埼玉県
SH75X-3B
西垣林業
奈良県
SH200LC-5SM
日和田林産
岐阜県
SH135X-3B
三井物産フォレスト
北海道
SH120-3



森友 vol.01
萬達寺林業
鹿児島県
SH135X-3
美山村森林組合
和歌山県
SH75X-3B
三次地方森林組合
広島県
SH75X-3
二和木材
岩手県
SH120-3

住友建機株式会社

住友建機販売株式会社

〒141-6025 東京都品川区大崎2-1-1 (ThinkPark Tower) TEL.03-6737-2610
北海道統括部 TEL.050-9001-8626 東北統括部 TEL.050-9001-8630
関東甲信越統括部 TEL.050-9001-9709 中部統括部 TEL.050-9001-8639
関西統括部 TEL.050-9000-3501 中国統括部 TEL.050-9001-8600
九州統括部 TEL.050-9001-8647

●オペレータの養成・資格取得のご相談は 千葉教習センター TEL.043-420-1549
愛知教習センター TEL.0566-35-1311 大阪教習センター TEL.06-6476-4555

<https://www.sumitomokenki.co.jp>

Photo studio xiao 小西 徹
Design TYD design office 山川 達也
Rewrite Bauhausinc. 中村 得治

森友

北米は Link-Belt ブランドで展開

SHINYU vol.15 2023 AUTUMN CONTENTS



堀川林業 株式会社
北海道
SH135X-7 WOODY WH50-1



合同会社 トップフォレスト
宮城県
SH135X-7 PONSSE H6



大野材木店
埼玉県
SH135X-7 IWA FUJI GS-90LJ



株式会社 白糸植物園
静岡県
SH135X-7 オカダ NANSEI S110F101 FG27



北但西部森林組合
兵庫県
SH135X-7 KESLA25SH mkII



有限会社 中越木材
広島県
SH135X-7 IWA FUJI GP-35B



有限会社 大川林業
熊本県
SH120-7 IWA FUJI GP-45V



木づかい森づくり

SH135X-7 WOODY WH50-1

北海道三笠市は、北海道中部道央地方に位置し、空知総合振興局に属する市である。三笠の名を世に知らしめたのは江戸時代末期に幌内地区で発見された石炭である。前述の幌内炭鉱を始めとして幾春別炭鉱、奔別炭鉱など幾多の炭鉱が、明治初期から平成元年の閉山まで100年あまりの間、日本の近代化を支え続けた歴史的に重要な地域であった。炭鉱で栄えた町は最盛期にはその人口も60,000人を超えていたが、相次ぐ閉山で人口は激減し現在は8,000人を切る過疎の町である。

炭鉱開発以前の三笠市は、市の東部 幾春別から桂沢にかけて良質のエゾマツやトドマツが多く自生することで知られ、江戸時代から良材が伐り出されてきた土地柄である。

この地で林業を営む堀川林業株式会社は、沿革としては現社長の曾祖父の代に兵庫県淡路島から北海道に入植し、当初は国有林への人夫賃しの業務から始まったという。その後国有林の直営部隊がなくなり、徐々にその伐採、造材の仕事を受け継ぎ、事業が発展拡大し現在に至るという。2年前に37歳の若さで代表取締役就任し、60名の社員を率いる高篠孝介代表取締役にお話をうかがった。



造材現場 (20m 幅皆伐・国有林)

「創業は大正なのか昭和初期なのか不明ですが、法人化は47年前になります。現在社内の構成は造林、電源開発、造材、製材、土木の5部門に分かれていて社員数は全員で60名です。そのうち造材部門は現場担当12名、事務職3名の在籍になり、現場は12名1班で対応しています。主な業務内容は国有林、道有林の伐採請負になり、1回の発注が8,000～10,000m³のボリュームで、年間2現場くらいを受注し年間素材生産量として15,000～20,000m³になります。伐採方法は帯状間伐(列状間伐の一種)や、小面積皆伐を指定されています。5m幅で伐採して10m残すといった方法です。帯状間伐は測量をすることが必要なので通常の間伐より少し手間がかかります。集材は短幹集材です。樹種は80%がトドマツで残りがカラマツと雑木になります。トドマツの直径は20～30cmくらいなので枝払いはチェーンソーで行っています。機械化は早くグラブプルやプロセッサは25年前には使用していました。プロセッサは最初にイワフジを、次にハーベスタとしてKESLA25SH(ストローク式)、最近ではWOODYを2台導入しています。以前は他社の機械も使っていましたが、住友建機販売代理店の澄川工作所さんとお付き合いが始まってから、すべての機械が住友製になりました。澄川さんが、メンテナンスなど迅速、誠実に対応してくれるので、助かっています。

施業地域は空知総合振興局管内、石狩総合振興局管内一円になります。

事務所



南空知地域には林業事業体は数社あり、業者間の仲は良いと思います。仕事量や会社の規模などで良いバランスがとれているからだと思います。無理をして他社の仕事を取っても、経費などを考えるとメリットがありません。それよりも、今は社内環境を充実させたいと考えています。社員の平均年齢は40歳弱、最高齢は造林部門で79歳、最年少は18歳です。特に女性の採用を積極的に考えたこともなかったのですが、現場の作業員として女性が2名入社希望されて入ってきました。それを**メディアに取り上げていただいたことで、現在は5名の女性が在籍しています。**老若男女の幅広い層の社員が、誠実に頑張ってくれているので、社員の給与を上げたいし、福利厚生ももっと充実させたいと思っています。現実には現状維持でも大変ですが、将来的には人にこの会社で働きたいと思ってもらえる会社に、そして社員が安心して楽しく働ける会社にしていきたいですね。」

レポート担当：斉藤 廣行
澄川工作所様と協力しながらお客様、地域林業の発展に住友の林業機を通じて尽力していきたいと思っています。

住友建機販売株式会社 札幌支店
〒001-0931 北海道札幌市北区新川西1条1丁目2-30
TEL 050-9001-8626 FAX 011-768-2096



河原 碩人さん 山中 英幸さん 棚 拓也さん 石岡 一也さん

高橋 保男さん 藤島 克己さん 八重樫 正勝さん 高篠 孝介代表取締役 傳法 和也生産部部长 河上 卓斗さん 石岡 優也さん 斉藤 拓樹さん



高篠 和憲 代表取締役会長



堀川林業 株式会社

本社所在地：北海道三笠市幾春別栗丘町13
代表取締役 高篠 孝介 様
電話 01267-6-8051
設立 昭和51年



SH135X-7 グラブプル

SH135X-7 WOODY WH50-1

SH120-7 グラブプル





合同会社 トップフォレスト

本社所在地：宮城県加美郡加美町字北原70-1
代表社員 佐藤 良広 様
電話 0229-25-3688
設立 令和2年

過疎の町で
運送と林業の
二刀流に挑戦する。

合同会社トップフォレストが所在する宮城県加美郡加美町は、県の北西部に位置し奥羽山脈を挟んで山形県と接する県境の町である。地方、特に山間部の市町村に共通した問題、若い働き手の流出による過疎化と地域住民の高齢化といった問題は、この地にも存在している。ただ豊かな森林資源に恵まれた加美町は、古くから林業が盛んな土地柄であり現在もトップフォレスト社を含め10社の林業事業体が営業している。今回トップフォレスト社の代表社員である佐藤良広氏にお話を伺った。



最初は、父親と二人で二台のトラックで木材専門の運送することから始まりました。いろいろ苦労もありましたが業務も順調に拡大し、23年前、私が32歳の時に有限会社佐藤林業として法人設立に至りました。息子が成人して仕事を手伝ってくれることになり、私の中にずっとあった『山の仕事がしたい。』という気持ちを実現するため、15年ほど前に伐採班を作りました。その後、佐藤林業内で運送部門はトラックの台数は20台を超え、素材生産部門もかなり大きくなってきたので、それぞれの事業に専念するべく、4年前に素材生産部門を分離独立し【合同会社トップフォレスト】として法人化しました。当時社員は運送と伐採を合わせて36名の在籍でした。トップフォレストの昨年度の素材生産量は10,000m³ほど、8名の現場作業員が作業班を2〜3班に編成して業務にあたっています。自社林は150ha所有しており、それ以外に立木買いもしています。間伐の仕事はあまりありません。ほとんどが皆伐でその後植林する仕事が多いですね。最近の山主さんは、自分の山に興味が無いのか山を売りたい方が増えてきています。樹種としては、ほとんどがスギで、あと少しが雑木です。木材の出荷は石巻や山形の合板工場へ自社便で直送しています。

あと地ごしらえの時の枝葉が多いので将来はバイオマス用のチップに利用していきたいと考えています。」
次に高性能林業機械についてお聞きした。「機械化は12〜3年前、当時はお金なかったで森林組合から中古のグラブプルを買ったのが最初です。住友機との出会いは、私の義兄も林業をやっており、その紹介で買うようになりました。現在はキャリアを含めて14台所有しています。油圧ショベル系は10台、その半数の5台が住友機になります。**住友機は他社製に比べて走行性も操作性も優れていると思います。**燃料タンクや尿素タンクも大きくて良いし、何より燃費がいいのでありがたいですね。昨年3月に納入してもらったSH135X-7 (PONSSE H6) は一番のお気に入り、お金があつたらもう1台欲しいくらいです。速さとパワーがあって、まだ一度もトラブルが無いので最高の機械です。一番若い子に乗せていますが喜んで乗ってくれていますよ。今や高性能林業機械は社員の安全と生産性の向上に欠かせない必須アイテムです。」
将来の展望についてお話をいただいた。「運送業の方は燃料が高くて苦しい状態

が続いていますので、ここ数年は林業ベースの事業展開になるかと思っています。先日もPONSSEの作業能力を知っていただいた自治体から指名で直接仕事をいただけるようになりました。国有林の仕事も現在は直ではなく、下請けで入っていますが、将来は直受けのできる事業体になりたいですね。」

レポート担当：鈴木 順
伐採部門として会社立上げ後、住友機を導入して頂いています。会社名の通り、林業界のトップを目指せるよう、サポートさせて頂きます。
◆住友建機販売株式会社 東北統括部 仙台支店
〒989-2426 宮城県岩沼市末広1丁目5番20号
TEL 050-9001-8630 FAX 0223-24-1156



SH135X-7 PONSSE H6

SH135X-7 PONSSE H6 SH135X-7 FAE 製マルチャー SH135X-7 MSE フェラバンチャー



和田 章さん 佐藤 翔太林業部部长 佐藤 良広代表社員 遊佐 繁夫さん 阿部 稜さん

高橋 浩さん 白井 勇輝さん 天野 一彦さん

SH135X-7 IWAFUJI GS-90LJ



次の世代に森をつなぐ

大野材木店の所在する埼玉県飯能市は、中世より林業の盛んな土地柄である。特に江戸時代には江戸の町の度重なる大火によって木材需要が増え、荒川水系の水運を利用して運ばれたこの地方の木材が、西の方向から川で運ばれた木材ということでいつしか『西川材』と呼ばれ、飯能はその中心地として繁栄した。大野材木店も古くから丸長の屋号でこの地で林業に携わってきた。今回取材に応じていただいた大野素史代表も昭和48年に家業を継ぎ、林業家としてのキャリアは、すでに50年の歳月を経ている。



ラジキャリ（稼働の準備をしている）

皮を食べたりしない。だからああいふ木は残したほうが良いと判断して小澤さんの山では、それを残すようにしている。信頼して任せていただいているからできることだと思っています。17～8年前、樹齢300年ほどのスギの木を使って小澤酒造の大きな酒樽を作らせていただいた。自分で伐採して、製材して、組立は全国に一軒しかない大阪の堺の上芝さんという樽屋さんに持って行って組んでもらった。普通の人は、山の木はすべてお金になると見て見るが、私は製材上がりだから、木を育てたい気持ちが強くありま

す。伐りたい良い木があったとしたら、そこに向かって真っ直ぐに道を作って、途中の木をすべて伐ってしまうのが普通の方法だけれど、途中の木が150年、200年先に7尺か8尺の木に成長しそうだと思うと、それを残して道をつけるようにしている。うちは基本的にチェーンソーで伐倒して、玉切りも手で行っている。機械を使って一律に切ってしまうのではなく、自分の目で見てこの木からはこれくらい上がるだろうと木取りができるようになって欲しいので、木の曲がりや腐りを見ることを今いる子たちに教えている。昔ながらの林業かもしれない

が、材積を求めるのではなく、丸太一本一本の品質にこだわって仕事をするのが重要だと考えています。

住友さんの林業機械の良い評判をよく聞くのでうちでも導入しましたが、確かに評判通りで力もあるし作業性も高い、高齢者になっても安全に山の作業ができる素晴らしいものだと思います。ただ、それも自分が木を見る力があってこそ機械を活かして使うことができると思っています。

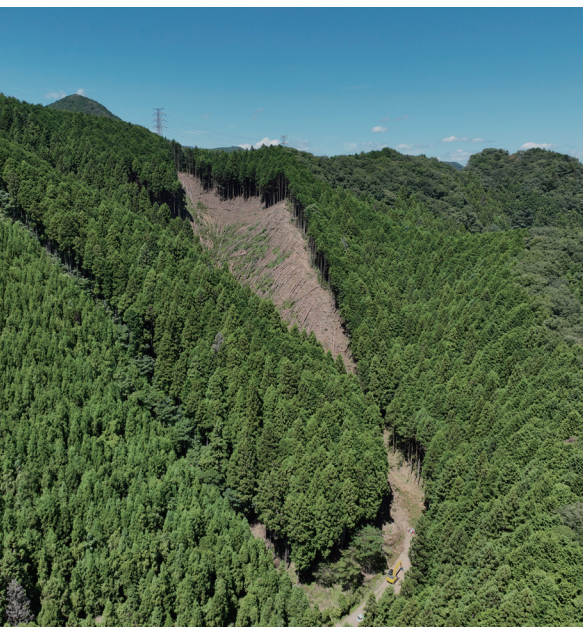
将来の夢は、とにかくこの山や木を未来につなげたいという思いです。今後大きな社寺仏閣の修復の時や、特に江戸城の天守閣や本丸が再建されるとなった時のために、誰かが立派な木を育てていなければならないわけで、その時にここに400年生の木があるよって出せたらいいなと思っています。」

現在大野材木店の主たる施業先は、江戸時代中期、元禄年間より青梅市で造り酒屋を営む小澤家所有の山になる。小澤家二十二代目当主であり、小澤酒造株式会社社長である小澤順一郎氏の知遇を得て全山の管理を任されている。「小澤家の山の管理を任せていただいて、もう二十数年になります。小澤会長が森林組合の理事をされており、また私の年齢的なこともあって奈良での修行を終えた倅が森林組合を通して仕事を頂いている形です。山は青梅と山梨にあり、青梅だけでも290haほどの広さがあります。そこでの仕事は、うまく説明できないけど本当に楽しいですね。**山主さんの度量が広く、すべて任せてもらえる**ので、自分の判断で施業させてもらっています。うちの倅が間伐をすると、雑木というか背の低いカシの木をいっぱい残している。普通の間伐の方法だとすべての木を伐ってしまうけど、しばらくすると、鹿がそれを食べるにきていて脇にあるスギやヒノキなどに見向きもしない。こちらが育てたいと思っている木の



大野材木店

本社所在地：埼玉県飯能市下赤工387
代表 大野 素史 様
電話 0429-77-0006
設立 未詳



小澤酒造株式会社小澤順一郎取締役会長

小澤酒造外観

屋号（丸長）配った手ぬぐい



本橋 隆さん

大野 素史代表

西村 拓郎さん

レポート担当：前田 安大

東京における林業も歴史や伝統により長く継承されており、その一端を弊社の製品が担っている事を実感することが出来ました。これからもサポートさせて頂きます。



関東甲信越統括部 多摩営業所

住友建機販売株式会社

〒198-0024 東京都青梅市新町 8-1-12
TEL 050-9001-5977 FAX 0428-32-5058



SH135X-7 オカダ NANSEI S110F101 FG27

林業と環境保全を両立する 持続的な経営林づくり

「仮説の着想以来五十数年間の研究を経てやっと外に出しても良い論文が書けました。皆伐より生産性の高い間伐事業という一般的になかなか理解しにくい内容ですが、林業経営を続けていくなかで蓄積したデータを分析したところ、私の仮説を証明できる結果ができたので」株式会社白糸植物園の代表取締役渡邊定元氏はインタビューの冒頭 このように語られた。氏の「継続的な収益と150年後に高資産価値林を生み出す持続的経営林づくり」が評価され、令和4年度（第61回）農林水産祭 林産部門 天皇杯を受賞された。



株式会社 白糸植物園

本社所在地：静岡県富士宮市原942番地
代表取締役 渡邊 定元 様
電話 0544-54-1826
設立 昭和56年

天皇杯の受賞理由

に白糸植物園の事業内容も要約されているので以下抜粋引用する。
【受賞者の取組の経過と経営の現況】
農林水産省職員、東京大学教授等を経て、林業経営体である株式会社白糸植物園を設立し、平成6年から現在までの28年間、それまでの自身の研究成果を活かした林業に従事してきた。小規模所有の森林を中心に集約化を行い、将来木候補の成長の妨げとなる準優占木を間伐対象とした中層間伐を繰り返すことで継続的に収益を得つつ150年後には優良木 100本/haの高収益林を造成することを目標とした「持続的経営林づくり」を進めてきた。令和3年度時点で、

富士山南麓域、1,000ha余の森林所有者と森林経営受託契約を結び、森林経営計画を作成し持続的経営林づくりを実施しており、これまでに数千万円の間伐収益を所有者に還元してきた。
【受賞者の特色】
1 高い資産価値を持つ持続的経営林を造成するため、中層間伐とそれによる同齢択伐林施策が実施されている。また大型フォワード走行を可能とした幹線作業道をはじめ、強度の降雨に耐えうる防災水源涵養路網を整備し、生産性の高い作業システムを構築している。
2 持続的経営林は、成長量を持続させる高齢級の森林造成のため、炭素の吸収能力維持と炭素貯蔵を両立させ、大



SH120-7
ヒノキの集材



気中のCO₂濃度の低減に寄与している。また、防災水源涵養機能を有する路網の高密度な整備により林地への車両系機械の侵入を最小限として林地保全を図るとともに、伐採・造材作業機械の導入が容易となり作業者の労働負担を軽減している。（以上 令和4年度天皇杯受賞者受賞理由概要より引用しました。）



実際の施業現場を案内される渡邊社長



竹下 勇太さん 松永 泰介さん 大石 正師さん 山崎 茂樹さん 小林 宏光さん
藤田 俊成さん 望月 貴治 森林管理部総括 渡邊 定賢取締役 細田 裕一 森林整備部部長 海野 紗千子さん



SH135X-7 オカダ NANSEI S110F101 FG27

「皆伐より生産性の高い間伐事業がどういふものか」といふと、基本は高密度路網と列状間伐による作業性の向上と中層間伐です。無間伐林では高密度路網を整備し、3残1伐列状間伐をした後、路網と伐採列と使って中層間伐を7年から10年ごと繰り返します。残したい木の成長を妨げる木を伐採すると平均よりも太いので収益があがり、残したい木もどんどん大きくなります。そうすることで自然と山づくりができます。我々のシステムにおいて集材の生産性を高くすることは重要なので、今回も導入させていただいた。

住友製のロングリーチグラップル

がこれからの林業システムの主軸を成すものであると自信を持って言えます。また、持続的経営林を成立させるために自然環境保全をしなければなりません。現在、富士山麓には絶滅が危惧される植物が多くあります。我々はこの地域の貴重な植物を保全するため、白糸フォッサマグナ森林植物園を作っています。」

レポート担当：小室 貴弘

理想とする山づくりのお手伝いができる機械の選択をしていただけるよう、アフターフォロー含め全力でサポートさせていただきます。



中部統括部
静岡支店

住友建機販売株式会社

〒418-0111 静岡県富士宮市山宮1112-1
TEL 050-9001-8639 FAX 0544-58-7840



豊かで強い森林づくり

北但西部森林組合の所在する美方郡香美町は、県の北西部に位置し、北は日本海に面し、南は鉢伏山、氷ノ山など1000m級の山岳が連なり急峻な地形を形成している。町の主な産業は農林水産業であり、水産業では関西圏の冬の風物詩である香住港で水揚げされる香住蟹や松葉蟹などのブランドガニと畜産業では国内すべての黒毛和種のルーツである但馬牛（神戸ビーフ）が有名である。北但西部森林組合は、昭和46年10月に香住町・村岡町・美方町・浜坂町・温泉町の五町の森林組合が合併して設立された。香美町の町域の85%が森林であり、林業に適した土地柄である。今年で52年目を迎える北但西部森林組合を率いる代表理事組合長の谷渕要一氏に取材のお時間を割いていただいた。



北但西部森林組合

本社所在地：兵庫県美方郡香美町岡区和田233-1
代表理事組合長 谷渕 要一 様
電話 0796-95-0511
設立 昭和46年

組合が管理する面積は約48,000ha

ほどあり、県内でも最大級の規模になります。令和5年現在、組合員数は約6,300名が登録されており、これも県内2位の多さです。施設として本所以外に支所が2か所とチップ製造のバイオマスセンターがあります。素材生産量は例年20,000～25,000m³の間を推移しており、樹種はスギが80%を占め、ヒノキが20%近く、あとカラマツが少しあります。組合の職員数は、森林技術者が42名、内勤の事務職が14名です。42名いる森林技士の平均年齢は42歳になります。昨年4月には新卒4名を採用しました。その中に大卒の女性が1名含まれ、組合として初めて新卒の女性森林技術者が誕生したと話題になりました。

林産に常時携わる作業班は3班で1班4名の構成で施業しています。高性能林業機械の導入は平成20年頃にプロセッサが最初です。それから徐々に高性能林業機械を順次導入し、素材生産量も導入以前は10,000m³を超えることはありませんでしたが、飛躍的に向上しました。現在ショベル系の機械だけで20台ほど所有しています。フォワーダや工場の重機も入れると30台を超えますね。最近は住友建機さんの機械を導入することが多いです。この6月にもSH135-7 KESLA社のハーベスタを納車いただきました。住友建機さんの機械ばかり導入するのは、機械の性能が高いことは勿論なのですが、きちんとメンテナンスをもらえるからです。



林業機械は元値が高いので古い機械でも修理して大事に使っていますが、メンテナンス面から見ると、住友建機販売の代理店である福田建機さんがタイムリーに来てくれて、他社の機械も含めて献身的にメンテナンスしてくれるので、本当に助かっています。なので、今後古い機械が順次住友建機さんの機械に入れ替わっていくと思いますよ。施業方法として間伐は山主さんの意向があって定性間伐をしています。

この地域は山が立っているの、作業道をつけるのも大変ですし、管理している地域の木がだんだん太く重たくなってきているので伐倒も搬出も一苦労です。**60年生が平均で100年物の木**も結構あります。そこで施業をしているので、うちの技術者は皆優秀ですよ。ここ数年は黒字が続いているので山主さんにも、職員にも還元できています。職員の勤務体制としては土日休みの週給2

日制をとっています。固定給プラス出来高の日給月給です。本来月給制が望ましいのかもしれませんがモチベーションを考えて出来高制を採用しています。あと賞与は年3回、決算が良ければ4回になります。今までは安全に注意して従前からやってきた仕事をやってるだけでした。ただ今後林業はスマート林業など新しい局面を迎えると思います。それに柔軟に対応していくことが必要になると思っています。」



レポート担当：赤松 伸一
「一流の商品」と「一流のサービス」を継続的にお客様へ提供することで、林業業界発展の一翼を担ってゆるよう取り組んでいます。



住友建機販売株式会社
〒620-0803 京都府福知山市宇観音寺340-1
TEL 050-9001-9848 FAX 0773-27-5256



SH135X-7 IWAFUJI GP-35B

ふるさとの森と共に歩む

昭和42年、大手企業で架線技術者として高知県、愛媛県、広島県と移り歩んできた先代社長である中越良生氏により北広島町大朝地区にて中越木材は起業された。その後平成6年に法人化
有限会社中越木材が設立される。
平成27年に現社長
中越岳士氏が代表取締役に就任し
今日に至る。

SH135X-7 IWAFUJI GP-35B

SH135X-6 MSE フェラバンチャー

事務所に隣接する苗畑



レポート担当：永田 智也

中越木材様からは機械性能・整備対応等で評価を頂いております。これからもご満足いただけるようバックアップさせて頂きます。



中四国統括部
広島支店

住友建機販売株式会社
〒731-5107 広島県広島市佐伯区石内上1丁目17-1
TEL 050-9001-8600 FAX 082-941-5121



有限会社 中越木材

本社所在地：広島県山県郡北広島町大朝4357-1
代表取締役 中越 岳士 様
電話 0826-82-1234
創業 昭和42年



昔ながらの山守に近いですね。

中越社長は自らの仕事をこう表現された。町域の83%が森林の大朝地区の主産業は林業と農業。中国山地を挟んで北は島根県になる。豊かな森林資源の樹種は、スギ、ヒノキ、マツなど色々だ。「施業は大朝地区が中心の地域密着型です。山主さんからお預かりした山林を、伐って、植えて、育ててという仕事を延々と繰り返し続けてきています。また造林もしていますし、苗が不足していると思えば自社で苗作りに着手しました。」苗作りに関しては民間で最初に県からの事業支援を受けた事業体であり、民間では最大の事業規模だという。コンテナ苗で、基本的にエリートツリー、コウヨウザンを主力にしているそうだ。「森林施業プランナーとして、山仕事を通じてお客様の山の資産価値を高めることが大切だと考えています。樹種を選択も、花粉症を考慮してアレルギーの少ないものや、成長が早く、手間の

かからない樹種を選んでいきます。苗は種から発芽させて1年から1年半で山に植えています。当初5年間で5万本の予定を組んだのですが、1年で3万本準備できましたが、伐採した面積には供給できていないのが現状で、必死で増産体制を構築しているところです。今の山作りは手間がかかり過ぎて山主さんにとってビジネスとしての旨みが足りないのでは林業の構造改革が必要だと考えています。」有限会社中越木材の社員構成は育苗担当が3名、伐採、植林担当が3名の計6名。昨年度の素材生産量は、年間6,000m³。育林事業では、植林面積が平均で15ha。『いつ高性能林業機械を導入されましたか？また、導入のきっかけは』との問いに、「確か平成25年頃だったと思います。KESLAのハーベスタでした。今も広島県内にバイオマス発電所が増えつつありますが、間伐材をチップ化する中間

業者に材を納めているので、KESLAが必要でした。機械を選定する時、耐久性を重視しています。現場で予想外の動きをした時に対応できる力のある機種を選んでいくつもりです。

その点住友さんの機械は良いですね。

6型のフェラバンチャーや7型のプロセッサーとの相性や足の速さとパワーは申し分ないですね。『会社のモットーや将来の展望をお聞かせください。』の問いかけには「先代から事業を受け継いだ時、弊社はまだ個人商店だったと思います。家業から企業へと変化させる必要がありました。法人としての価値は、地域社会に貢献できることです。人材育成に取り組むべく、緑の雇用制度に参画し、意欲と能力のある事業体としての団体に認可され、技術の伝承も含めて7名の人材を育成してきました。会社のモットーは【ふるさとの森と歩む】です。大

朝の森の中で自分たちの仕事をして30年40年50年と経った時によりよいものにしていきたいと思います。林業は有史以来連綿と続いてきた仕事です。今ある木も100年前、150年前に誰かが植えてくれた木であるという持続可能な林業、日本の林業のモデル地区になるような林業の形を表現したいですね。」



井上亮さん

中越 岳士社長

亀田直幹さん

清中 賢也さん



100年先を見据えた 林業会社を目指して

有限会社大川林業は、昭和54年水俣市に於いて設立された。水俣市は熊本県最南端の市であり鹿児島県と隣接している。北、東、南の三方は山に囲まれ緑の多い土地柄であり、西は不知火海に面し天草諸島を望む風光明媚な地域である。二十余年前、福岡で異業種の営業マンであった現社長が、帰郷し会社を継がれることになった。それ以後の大川林業の歩みを大川信也代表取締役にお話していただいた。



有限会社 大川林業
本社所在地：熊本県水俣市浜松町5-61-5
代表取締役 大川 信也 様
電話 0966-84-9651
設立 昭和54年

「当時の会社の状況は信じられないくらい酷いものでした。それからは会社を建て直すために無我夢中で仕事をしました。地元に残っていた同級生が、機械屋さんや納品先など仕事に不可欠な業種に就いていて助けてくれました。本当に運が良かったと思います。」
現在の施業方法や機械化などについてお聞きした。
「機械化は早かったと思います。20年前にプロセッサとグラップルが1台づつ所有しており、当時から全幹集材をして土場で玉切りをする施業方法を採用していました。仕事内容としてはほとんどが主伐です。切捨て間伐もしたことはありますが、皆伐して植林することが正しい林業だという認識でいます。
林業機械は40台くらい保有しています。作業班は11班、素材生産高は自社山で80,000m³ほどです。最盛期で130,000m³ほど上がった時期もあります。

住友さんの機械はこの2年間で6台導入しました。最初は『住友の機械を買うの?』って言われましたが、購入前にデモ機を2週間借りて、オペレーターが使いやすいので購入しようとなりました。お世辞抜きですごく良い機械です。燃費も他社と比べて良いメンテナンスに関してはこの2年間で故障していないので定期点検レベルです。」
住友の機械を気に入っていただいているという、素材生産部統括部長の伊藤雄弥さんからその理由をお聞きした。
「私が一番気に入っているのは乗った時の快適さですね。ルームスペースも広いですし、総合的にバランスのとれた良い機械だと思います。特に斜面での作業時の安定感は申し分ないですね。弊社の作業員は若い人が多くなってきたので、安全性の高い住友機が安心ですね。林業はきつい仕事だというイメージの中、若い人が入社してくれるのは嬉しいことです。有能な子



SH120-7 IWAFUJI GP-45V

SH120-7 オカダ NANSEI ハイブリッドバケット



が多いので、早く私を超えていってくれたら良いなと思っています。」
伊藤部長から若い人が増えてきているという話を伺ったので、大川社長にその秘訣をお聞きした。
「社員の採用はここ7年くらい募集していないのですが、毎年入ってきてくれています。友達つながりの入社が多いですね。生活の安定を考慮して、給料を今年から固定給にしました。そのため、かなり経費が上がりました。福利厚生に関しても社員にできる限りのことをしようと思っています。
将来に向かって思うことは、現在大川グループ全体で社員は100名弱になります。その中には若い子もたくさんいるので、現在のペースで仕事を続けていくと、植林している木の成長が追いつかず、将来伐る山がなくなってしまうと考えています。次の世代のために山を循環させたい、今居る従業員たちが将来自社林だけでやっていけるような会社を作っておいてあげたいと思っています。」



SH120-7 オカダ NANSEI ハイブリッドバケット



レポート担当：松田 文仁
大川林業様とは機械導入当初からの付き合いをさせていただいています。今後も情報共有を行い、住友機の性能が存分に発揮できる様に迅速なサポートに努めていきます。
九州統括部 熊本支店
住友建機販売株式会社
〒861-8035 熊本県熊本市東区御領6丁目1-4 6
TEL 050-9001-8653 FAX 096-380-0009



宮田 祥次専務 林田 展臣さん 田中 瑛斗さん 小野 紗智さん